

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くろかみ学園児童デイサービス事業所		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 10日		～ 令和 8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 10日		～ 令和 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の特性理解と専門性があること。	利用児の特性理解と専門性の高い支援が徹底していること。	個別支援計画の職員間共有、活動プログラムのチーム立案を更に強化すること。情報共有の効率化をさらに図ること。
2	保護者との信頼関係が構築出来ていること。	送迎時の丁寧な情報共有と相談対応を実施していること。	日々のフィードバック、相談支援体制の更なる充実を図ること。
3	活動プログラムに多様性があること。	季節や利用児の状態に合わせた活動の工夫を実施していること。	月案作成、マンネリを防止すること。地域活動の拡充を更に図ること。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の建物が借用の施設であるため、施設環境の制約があること。	スペース不足・トイレ動線の課題があること。借用施設の構造的制約があること。	会議室活用、散歩導入、支援カードの活用で環境の制約を補う工夫をすること。
2	中高生が静かに過ごせる環境調整が必要なこと。	賑やかさにより中高生が静かに過ごす環境がないこと。個別のスペースが不足していること。	個別ブース活用、動線の調整を行い、落ち着いた環境作りの設定をすること。
3	地域交流・保護者交流の少ないこと。	特性による難しさがあることや、保護者も無理をして交流することを望まれていない現状があること。	地域資源を使った活動の充実を図ること。同一法人内の放デイ同士の小規模交流やきょうだい支援検討すること。